



消防大学校だより

緊急消防援助隊教育の総合展開

消防大学校では、大規模災害等発生時における緊急消防援助隊の連携活動能力の向上を目的として、平成20年度中に「指揮隊長コース(第4回)」、「航空隊コース(第6回、第7回)」、「航空隊長コース(第4回)」などのコースを実施しています。

「指揮隊長コース(第4回)」は、4月期の人事異動後間もない4月21日から4月25日までの5日間、緊急消防援助隊の指揮支援部隊長、指揮支援隊長、都道府県隊長及び都道府県隊指揮隊長など27人を対象として実施しました。

本コースでは、部隊指揮要領、航空隊との連携及び過去の災害事例などの講義のほか、シミュレーションを通じて災害時の現地調整本部の適正な運用方法を疑似体験する図上訓練を実施しました。

学生からは、「緊急消防援助隊の制度及び活動、調整本部の運営方法がよく理解できた。」「各県代表消防本部の方々と顔の見える関係が構築でき、災害現場での活動をスムーズに行うことができる。」などの感想が寄せられました。

「航空隊コース(第6回)」は、7月8日から7月25日までの13日間、全国から消防防災ヘリコプターの隊員29



降下後の救出準備の風景
【航空隊コース(第6回)】

名を対象として実施しました。

本コースが始まる1か月前には、岩手・宮城内陸地震が発生し、出動した隊員の中には、本コース入校予定者も多数おりました。

本コースは、隊員を対象としていることから、航空法規・航空工学など基礎的知識をはじめ、消防庁危機管理センターでの航空実務・消防広域応援・航空消防防災行政等消防庁の施策、さらに航空医学・原子力災害への対応等専門的知識をも含むなど、消防防災ヘリの隊員としての水準の高い講義となりました。

また、本コースでの訓練は、東京消防庁のご協力を得て、4日間、第八消防方面本部消防救助機動部隊及び装備部航空隊のご指導により駐機訓練を実施しました。

梅雨の明けきらない7月中旬に実施されたこの訓練は、過酷を極めていましたが、学生たちは皆、自己の技術の向上を目指し、熱心に受講していました。

「航空隊長コース(第4回)」は、7月28日から8月1日まで、消防防災ヘリコプターの隊長、副隊長及びパイロットで活躍している26人を対象として実施しました。

本コースでは、消防航空行政を中心に、大規模災害における救援航空機の活動統制や、関係機関の航空機運用



緊急消防援助隊調整本部を想定した図上訓練風景
【指揮隊長コース(第4回)】